

# 育成会だより



第 84 号 平成 26(2014)年 7月 18日発行  
発行者 下津第一中学校 育成会文化人権部

## 一学期を終えて

### 育成会会長

#### 川脇 義正

早いもので、新年度が始まり三ヶ月が経ちました。冬服から夏服へ、真っ白な制服がまぶしい季節になりました。

保護者の皆様には、平素より、育成会活動にご協力いただき、ありがとうございます。さて、先日ある新聞に、和歌山県の人口減少問題の記事が掲載されました。人口減少の一つの要因として、進学等で和歌山を離れ、進学先で就職し、地元に戻ってこないという現状が書かれていました。もちろん海南市も例外ではありません。

将来を夢見る子ども達を和歌山県という小さなところに縛り付けるわけにいきませぬ。ただ、「ふるさと」への想いは心の中に持っていて欲しいと考えています。

そのために、今、何ができるのかを考えているところです。育成会活動の中で取り組める、何かいいアイデアがありましたら、ぜひ、教えてください。そして、一緒に子ども達の将来について、考えてみましょう。

## 我が子が中学生になって

### 天野 勝明

寝むそうな目をして、慌しく玄関を出て行く息子。激変した生活習慣の中、楽しむ余裕もなく、悪戦苦闘の毎日を送っている。無理もない、授業・クラブ活動・定期テストなど否応なく時間が押し寄せてくる……。

入学して三ヶ月。そうした日常にも慣れてきたのか、彼なりのリズムが出来てきたようだ。新しい思想・友人・環境を得たことで、ひとまわり成長したように思える。色々な刺激を受け、大いに成長出来る時期であり、しっかりとした土台作りの時期。試行錯誤を繰り返して、自身のスタイルを確立してもらいたい。と、書きながら、私自身も成長しなければと、頭を掻いているのです。



## 一学期を終えて

### 校長 木村 拓司

早いもので、本日で一学期が終了します。新入生を迎えた四月から、学習に学校行事に部活動に一生懸命取り組み、充実した四ヶ月を過ごしてくれました。季節の移ろいととも成長していく生徒たちと一緒に学校生活を送れることに喜びを感じています。

一年生は、入学してから中学生としての生活をしっかりと身につけようとしています。また、「地域学習・郷土学習」として、地域の九人の大先輩方から、下津町のことについていろいろな分野からお話を伺いました。夏休みには、知りたいことについて現地に行くなどさらに詳しく調べます。まとめの発表を楽しみにしています。

二年生は、いよいよ8月4日から町内十二事業所の御協力を得て、職場体験が行なわれます。電話をかけた後、事前に事業所へ挨拶に行き打ち合わせをしたりと、全てが将来の働くことへとつながっていきます。ぜひとも下津第一中学校の一員であるとの自覚を持って、頑張ってください。

三年生は、常に下級生の手本になれるようにと活動しています。二年生もそういう意識を持っていろんな面で頑張っています。このすばらしい校風の伝統をさらに引き継いでいってほしいと思います。

また、三年生にとって「夏は天王山」とよく言われます。この夏こそ自分を



鍛え・成長させるいい機会です。さらに、7月に実施される中体連の大会は、三年間を締めくくる大切な時期です。全力で頑張ってください。そして、夏休みからは、いよいよ受験生として、学習に集中して取り組んでもらいたいと思います。なお、この夏休みに体育館と本館、新館校舎の一部天井改修工事が行われます。本館、新館校舎の耐震工事に続く工事です。御不便をおかけしますが、どうか御理解・御協力願います。明日から、長い夏休みとなります。学校でもいろいろと指導しますが、御家庭の御協力も必要かと思われまます。交通事故や水難事故などにあわないように、くれぐれも安全には十分注意し、元気に二学期を迎えましょう。

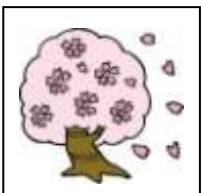
2年生 社会見学



1年生 遠足



3年生 修学旅行



# 新しく赴任された先生方



この度の異動で、下津第一中学校に赴任してきました。本校の良さは前任校にも聞こえてきていました。四月に校内に入るとそのことがすぐにわかりました。

教室はもちろんのこと掃除の行き届いた校庭や廊下が私を暖かく迎えてくれました。また、誰とでもきちんと挨拶ができる生徒たちがまぶしく見えました。そのおかげで、とても嬉しいスタートを切ることができました。

そして、はやいものでもう4ヶ月が過ぎようとしています。4月に感じた「落ち着いた空気」は、生徒一人ひとりの頑張りによって作り出されていることがよく分かりました。行事や部活動、毎日の掃除も全員が一生懸命です。この一生懸命に取り組む姿勢が落ち着いた学校をつくり、個々の生徒がたくましく生きていく力となっているのだと思います。これからも、更に保護者や地域の皆様と連携しながら、人との繋がりを大切にできる心豊かな生徒を育てていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひします。



この度、桐蔭中学校から下津第一中学校へ転任しました磯永隆です。海南・海草地方へ戻って来るこゝとが出来てとても嬉しいです。桐蔭高校(前)校長宮下先生からは「下津一中は大変良い所だ、

私の母校だから(笑)」と伺っておりまして。それが真実だと実感するのに時間はかかりませんでした。素直な生徒たちを見ると、家庭で、地域で、小学校で大事に育てられているなあと感じます。

私の仕事は、今年採用された教員の指導です。故に、週に1〜2日しか下津一中に居ることができません。少ない時間でも生徒とかかわりながら、その成長を見守っていきたくと考えています。よろしくお願ひ致します。



今年度から下津第一中学校でお世話になる平久保有美です。学校へ来ますと、朝の澄み切った空気に感動します。そして、校舎に入ると、生徒の皆さんのさわやかな挨拶と元気な声に清々しい気分がいたします。

このような素晴らしい学校で過ごせることを光栄に思います。教室で話をしても、誰一人下を向くことなく、しっかりと人の目を見て、姿勢を正し、最後まで静かに聴ける。それは当たり前前のことですが、それもやはり保護者の方々や、地域の方々温かいまなざしで子どもたちを育ててくださっているおかげだと感じています。担当教科は国語と家庭です。生徒たちの手際の良さや積極的な発言に助けられる毎日です。そんな良き校風を崩さないように、さらに成長していけるように支援していきたいと考えておりますので、何卒よろしくお願ひいたします。



この度、新採用で下津第一中学校に赴任しました、江上ちさとです。今年から新社会人として働くということもあり、赴任先が決まるまでは本当に不安でいっぱいでした。

先生としてきちんとやっていたのか、生徒たちと信頼関係を築けるのか、そんなことばかり考えていました。そんな中、下津第一中学校に赴任先が決まり、学校に挨拶に伺うことになりました。校門を通ると、グラウンドで練習をしていた野球部の生徒が「こんにちわ。」と大きな声で挨拶をしてくれました。そのときに自然と笑顔になったことをよく覚えています。下津第一中学校の生徒は、優しく、温かい心を持っているのだなと心から感じる事ができました。そして日々、生徒の素直さからたくさんのご迷惑を学んでいます。



まだまだ至らない点が多く、たくさんのご迷惑をおかけすると思いますが、精一杯頑張りますので、どうかよろしくお願ひします。

この度、下津第一中学校でお世話になることになりました、伊藤嘉彦です。担当教科は英語です。和歌山に住み始めて三年目になりますが、赴任してくるまで下津のことはほとんど知りませんでした。

た。約三か月、学校生活を共に過ごしてきましたが、生徒のみなさんの姿に、本当に感心させられてばかりです。授業中の活動や普段の清掃、全校での行事など、何か一つのことにもみんな

一緒になって取り組むことは、決して簡単なことではありません。何事も一生懸命頑張れるのは、素直で前向きなみなさんだからこそだと思います。まだまだ知らないことや慣れないことがたくさんありますが、この一年、みなさんと共に、多くの経験を積み、多くのことを学び、成長していければと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。



本年度、下津第一中学校でお世話になることになりました大野祐嗣です。担当科目は全学年の社会科、及び、2年生の技術科です。下津第一中学校は、挨拶ができ、校舎の中は綺麗で、

落ち着いた環境のなかで文武両道に励むことができるという評判を前々から聞いていました。3カ月余り過ごさせていただいて、生徒とのかかわりの中で、その評判を日々実感しています。素直で真面目な生徒たちに囲まれ、日々、私自身も楽しく過ごせることができ、幸せに思います。これも、生徒たちを温かく見守ってくれている保護者の皆様や地域の皆様のおかげだと思っております。まだまだ経験不足で至らない点が多数ありますが、生徒たちの成長に少しでも貢献できればという思いで、何事にも一生懸命に頑張りたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



